

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸 (レールタイプ)専用枠材 3方枠

ドレタス H20・H24 **90mm幅・113mm幅固定枠**
 [標準]片側ソフトクローズ [オプション]両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

ピノアース H20 **90mm幅固定枠**
 [標準]両側ソフトクローズ

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
 広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

0120-813-331

[受付時間]平日8:30~17:00

[休日]土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガーの位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・調整用戸車・レール等は消耗性部品。
引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお勧めします。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。
- ・補強の飼木(現場調達)を入れる。
ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

梱包内訳表 ※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット						
部材名	縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)
入数	片引き戸 引き違い戸	1本 2本	1本 —	1本 —	1本 1本	— 1本
備考 (部材品番等)	—	—	—	—	—	—

別梱包		敷居埋め込みの場合		床直付けレールの場合		
部材名		敷居		敷居		
入 数	片引き戸	本体1本	レール1本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス8本
	引き違い戸	本体1本	レール2本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス16本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—

ドレタス

ビスセット (枠本体セットに同梱)						
部材名	袋の色	赤	赤	赤	赤	透明
セット品番		木ダボ 6mm 35mm	組み立て ビス 62mm φ3.8mm	敷居 組み立て ビス 62mm φ3.8mm	下枠 固定ビス 25mm φ3.5mm	クッション キャップ φ16
入数	片引き戸 引き違い戸	ZYBB54-□ 2本	ZYBB55-□ 6本	ZYBB55-□ 4本	ZYBB55-□ 6本	ZYBB55-□ 8個
備考 (部材品番等)	—	—	—	—	床直付け レールの場合は 使用しません。	—

ピノアース

ビスセット (枠本体セットに同梱)						
部材名	袋の色	赤	赤	赤	赤	透明
セット品番		木ダボ 6mm 35mm	組み立て ビス 62mm φ3.8mm	敷居 組み立て ビス 62mm φ3.8mm	下枠 固定ビス 25mm φ3.5mm	クッション キャップ φ16
入数	片引き戸 引き違い戸	ZYBB44-□ 2本	ZYBB45-□ 6本	ZYBB45-□ 4本	ZYBB45-□ 6本	ZYBB45-□ 8個
備考 (部材品番等)	—	—	—	—	床直付け レールの場合は 使用しません。	—

ドレタス 【標準:片側ソフトクローズ】

金具セット(枠本体セットに同梱)								
部材名			上部 ガイドランナー 跳上 抑制なし	上部 キャッチャー (ビス1本セット)	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)
								
セット品番					18mm φ3.5mm			
入 数	片引き戸	ZYSKS	1	1個	6本	1	1	1
	引き違い戸	ZYSHS	2	—	12本	2	2	2
備 考 (部材品番等)			ZYNGN21	ZYNC21	ZYTA01	ZYNCS21	ZYNTG21	ZYTNC01

ピノアース 【標準:両側ソフトクローズ】

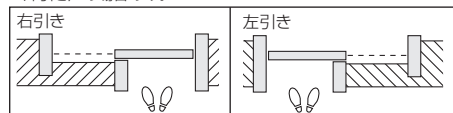
※ドレタスで両側ソフトクローズにしたい場合は、下記セットをご発注ください。

金具セット							
部材名		上部ガイド 跳ね上げ 抑制あり	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	
							
入 数	片引き戸	セット品番	1	6本	1	2	2
	引き違い戸	ZYSKW	2	12本	2	4	2
備 考 (部材品番等)		ZYNGA21	ZYTAO1	ZYNSCW21	ZYNTG21	ZYTNC01	

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。



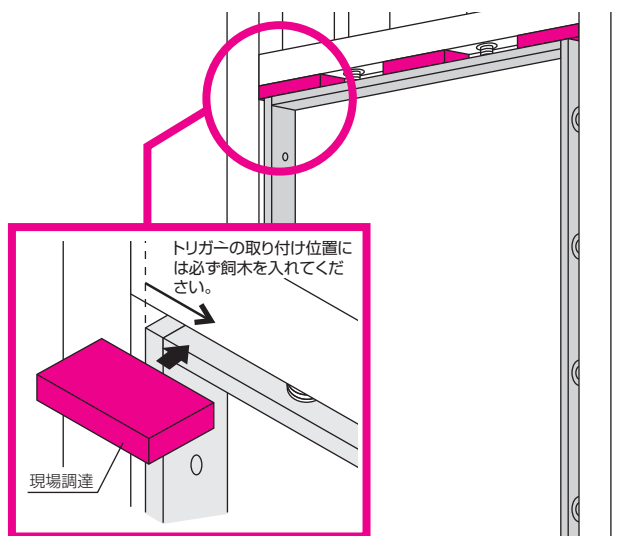
片引き戸 施工…4ページに進んでください。

引き違い戸 施工…9ページに進んでください。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木（現場調達）を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

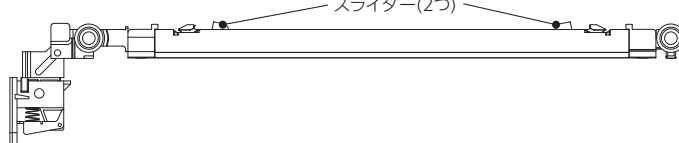


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

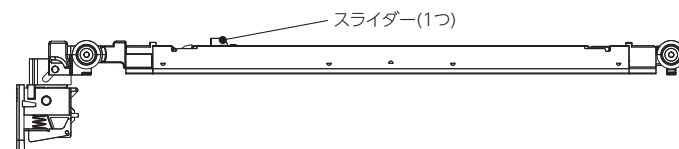
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けください。

正常状態

両利きタイプ



片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

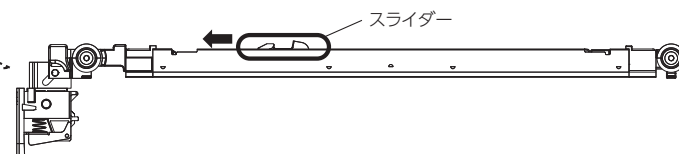
「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。

両利きタイプ



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

【片引き戸】納まり図

下記ルール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

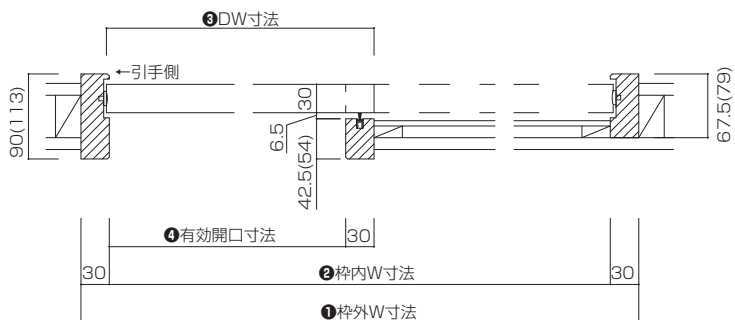
※ピノアースシリーズに113mm幅はございません。 ※ピノアースシリーズに枠外W寸法1,324mmはございません。

※ピノアースシリーズにH22、H24はございません。

横断面図

■ 枠製品寸法と納まり図

(单位:mm)

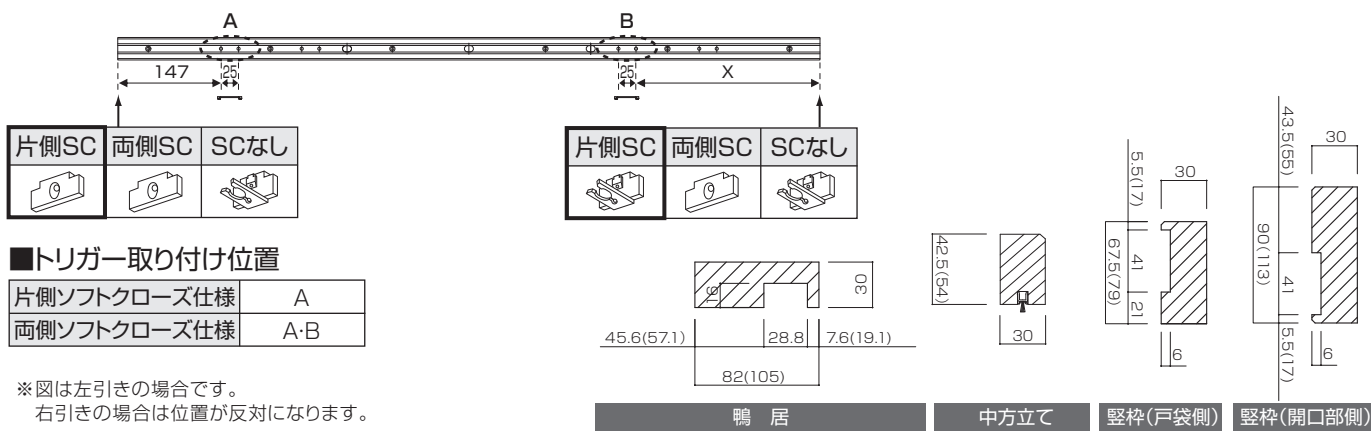


製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
① 枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
② 枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,264	1,130
③ DW寸法	900	810	713	650	583
④ 有効開口寸法	867	777	680	620	550
X寸法	579	489	392	329	262

■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B

■ルール詳細図



※図は左引きの場合です。
右引きの場合は位置が反対になります。

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

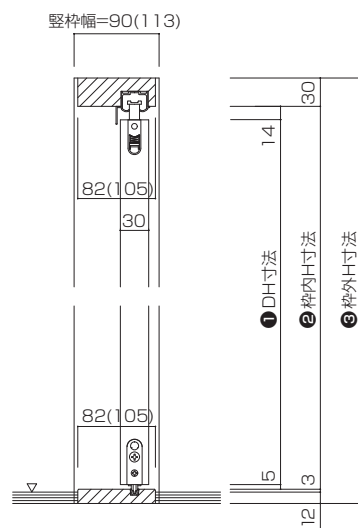
※()内は113mm幅の寸法です。

縦断面図

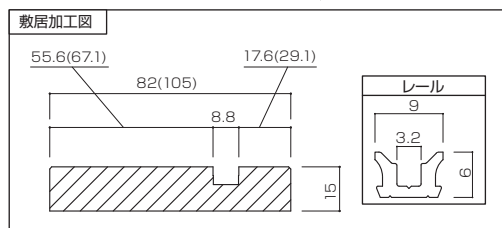
床埋め込み敷居の場合

(单位:mm)

※()内は113mm幅の寸法です。



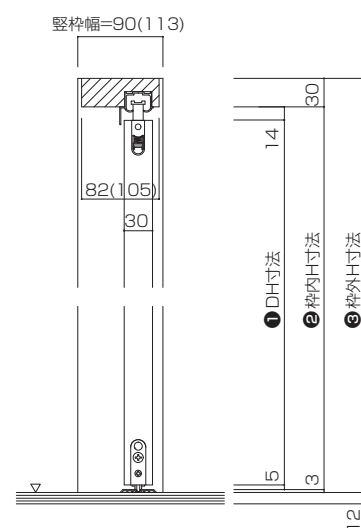
製品寸法	H20 DH 1,983	H22 DH 2,183	H24 DH 2,348
①DH寸法	1,983	2,183	2,348
②枠内H寸法	2,002	2,202	2,367
③枠外H寸法	2,047	2,247	2,412



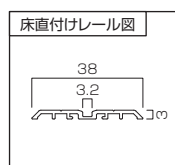
床直付けレールの場合

(单位:mm)

※()内は113mm幅の寸法です。



製品寸法 H20 DH 1,983	H22 DH 2,183	H24 DH 2,348	
①DH寸法	1,983	2,183	2,348
②枠内H寸法	2,002	2,202	2,367
③枠外H寸法	2,035	2,235	2,400

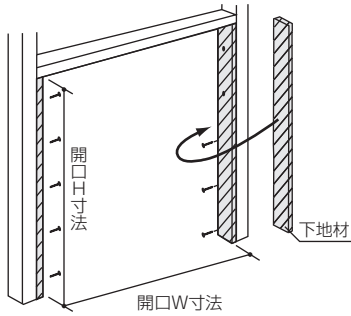


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

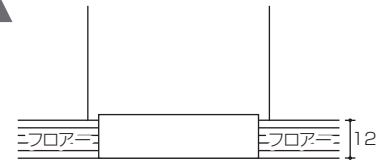
1 取り付け開口部の確認

■ 開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ



注意
敷居はバリアフリー（埋め込み施工）となります。

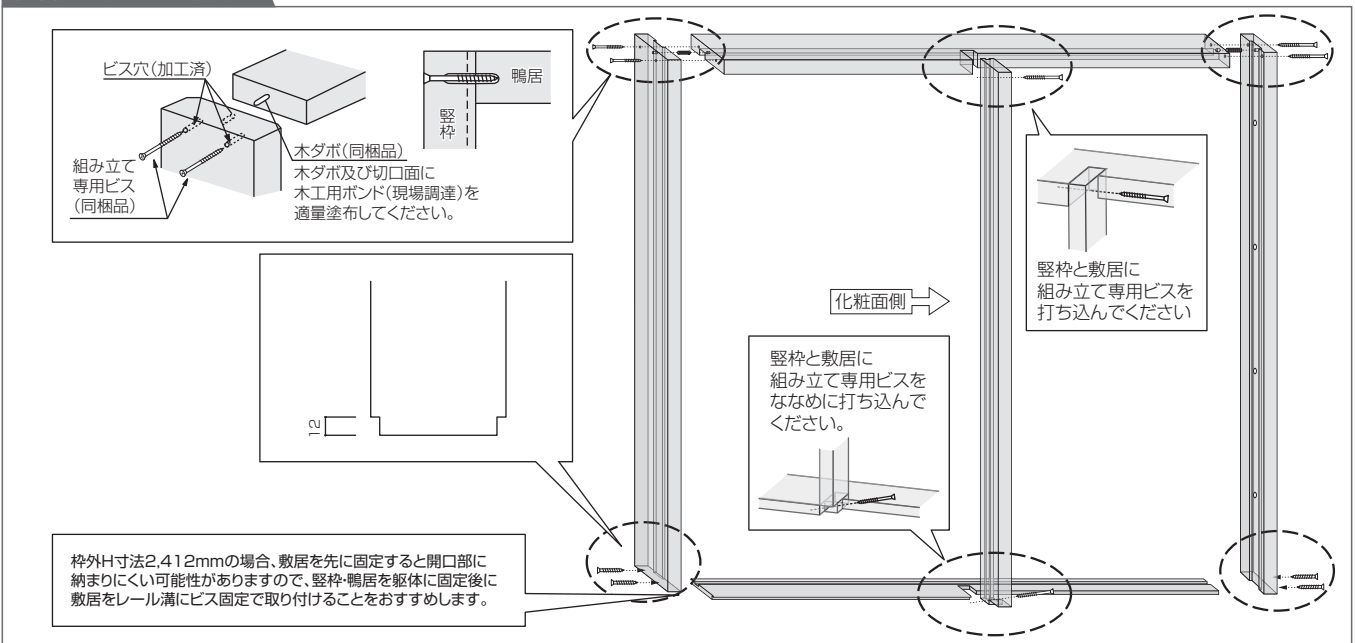
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

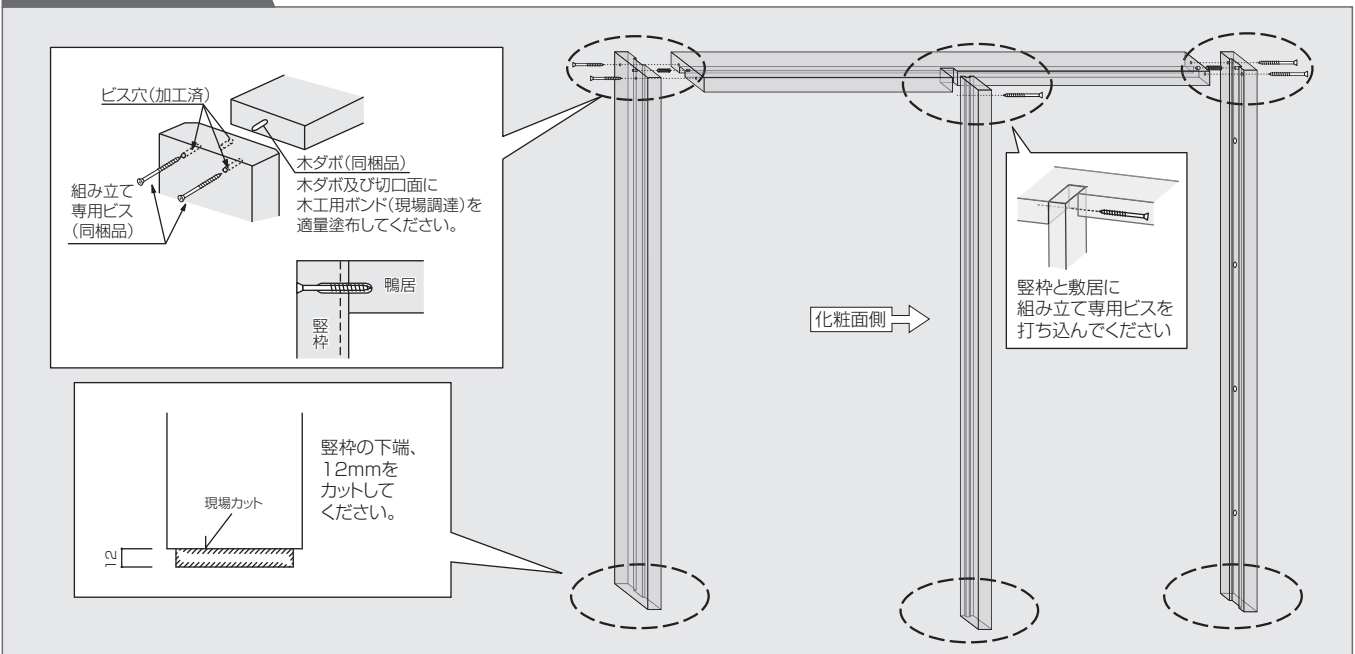
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



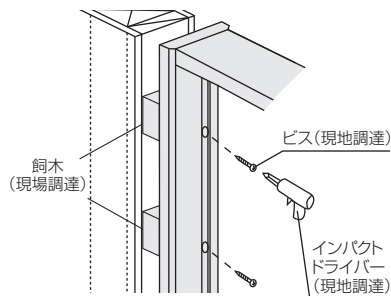
床直付けレールの場合



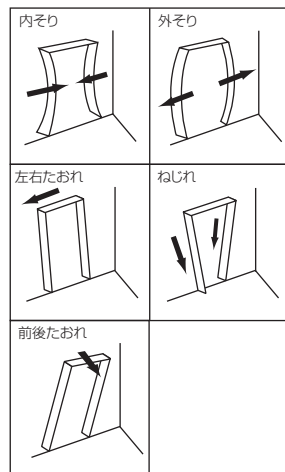
4 枠材の固定と建て付け調整

■4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

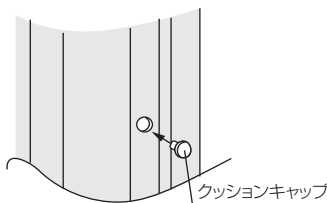
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は現地調達したビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。



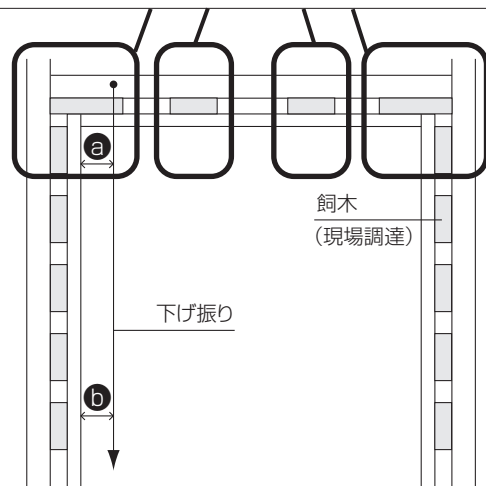
縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

※トリガーの位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

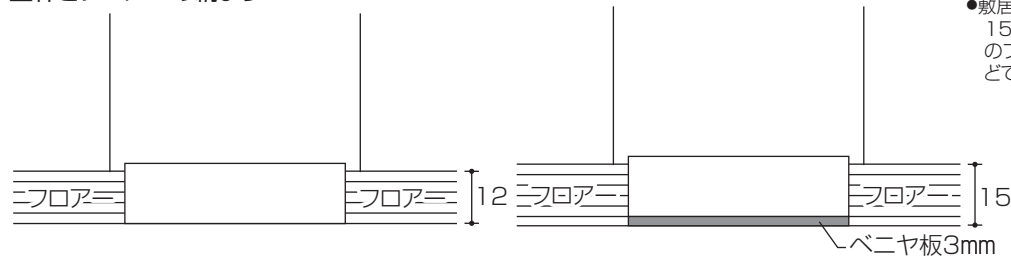


水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

5 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

縦枠とフローアの納まり



●敷居の厚みは12mmを基準にしています。
15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで 高さの調整をおこなってください。

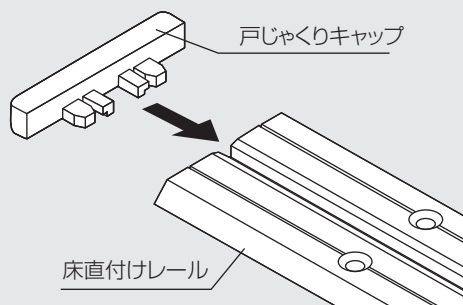
⚠ 注意

敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

床直付けレールの場合

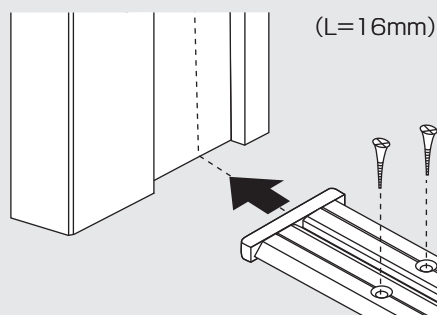
①戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。



②床直付けレール取り付け位置の確認

縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように位置決めをします。同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

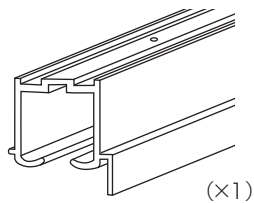


※レールのキズ防止のため、施主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

6 鴨居レールの取り付け ⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け

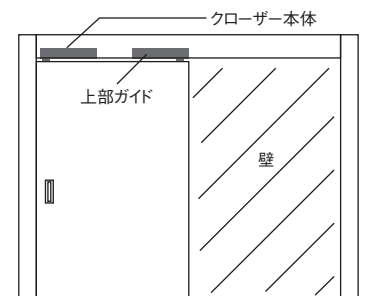
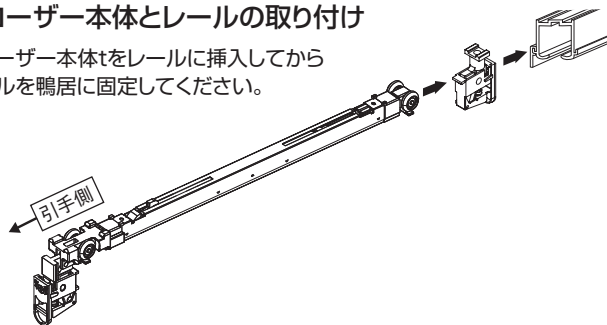
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



片側ソフトクローズ 仕様

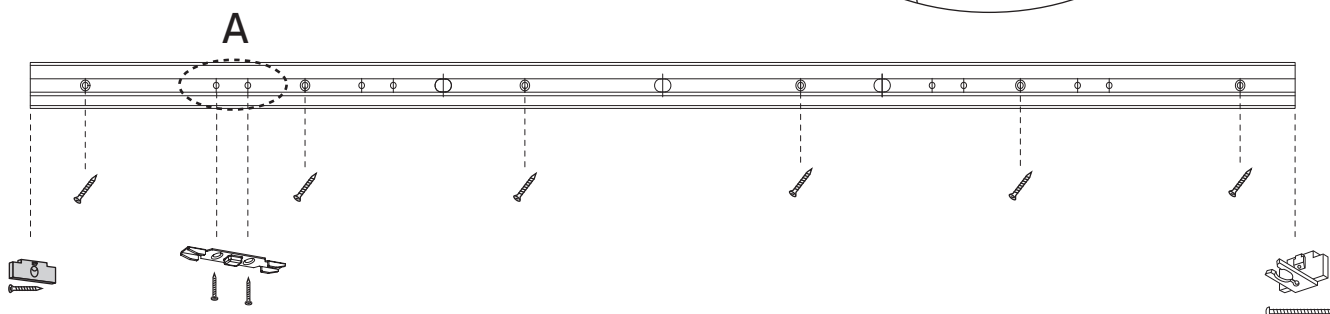
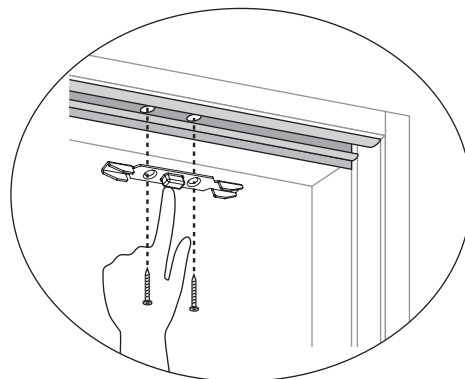
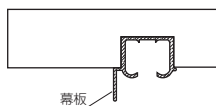
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて
取り付けてください。

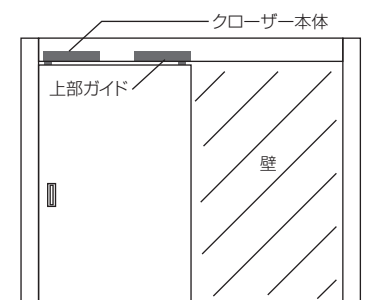
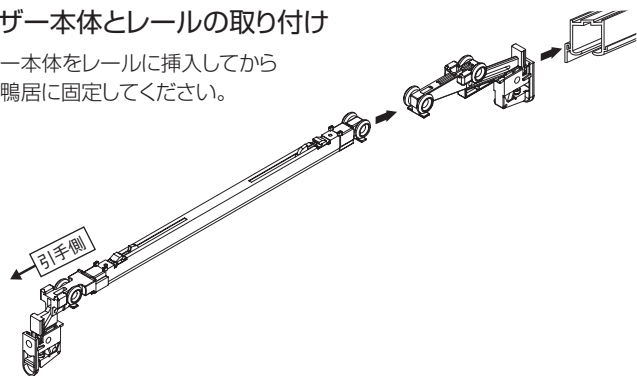


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

両側ソフトクローズ 仕様

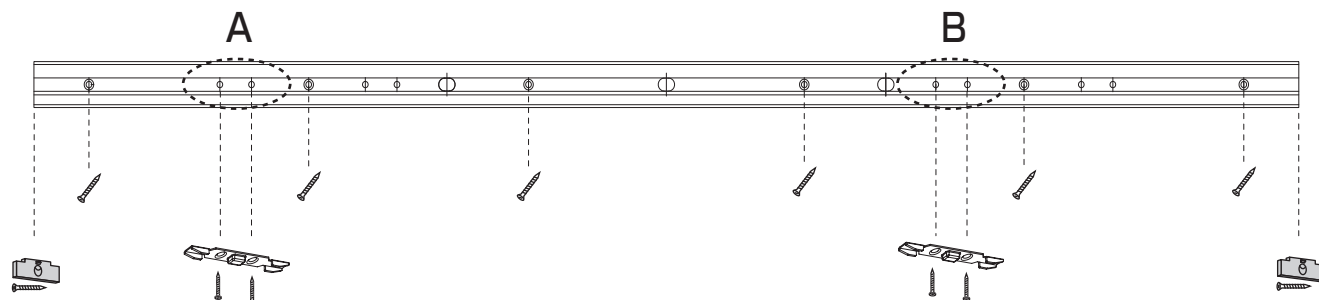
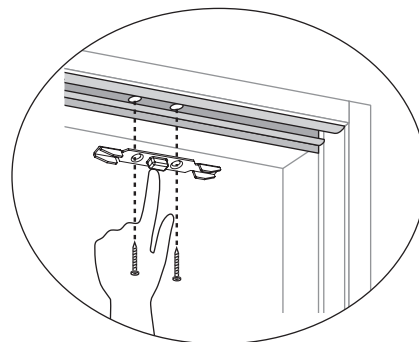
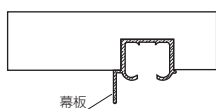
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて
取り付けてください。

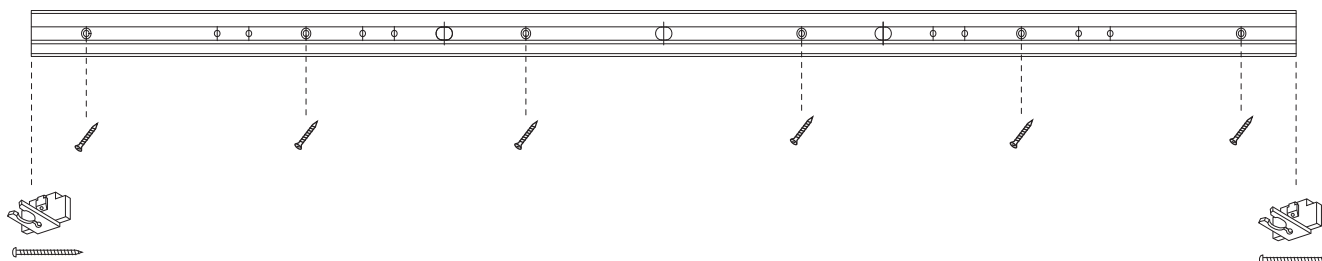
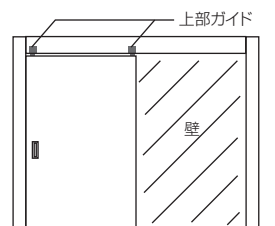
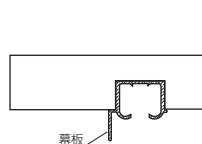


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

ソフトクローズなし オプション

①鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて取り付け
てください。



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

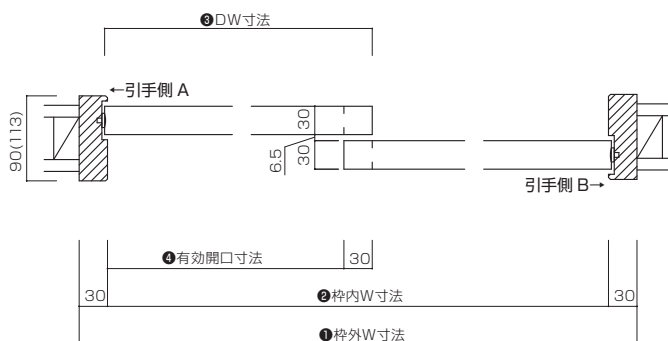
【引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。
※ピノアースシリーズに113mm幅はございません。 ※ピノアースシリーズにH22、H24はございません。

横断面図

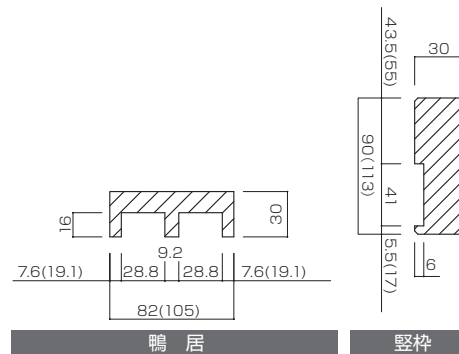
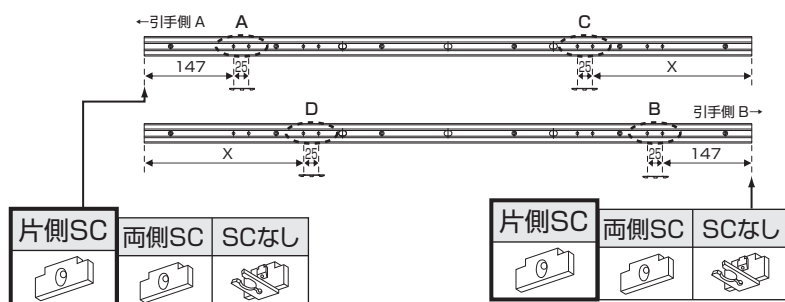
■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



製品寸法	1,824	1,644
①枠外W寸法	1,824	1,644
②枠内W寸法	1,764	1,584
③DW寸法	900	810
④有効開口寸法	867	770
X寸法	579	489

■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

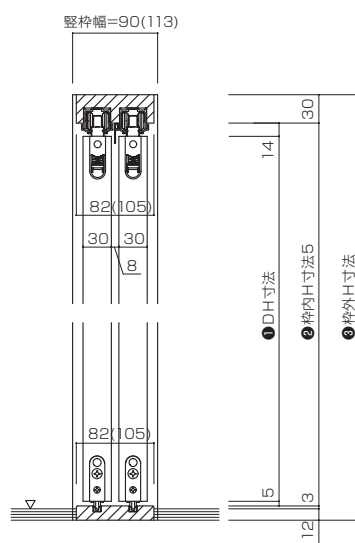
※()内は113mm幅の寸法です。

縦断面図

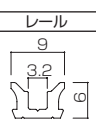
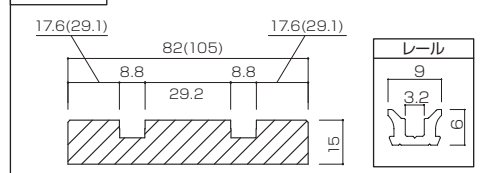
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)

※()内は113mm幅の寸法です。



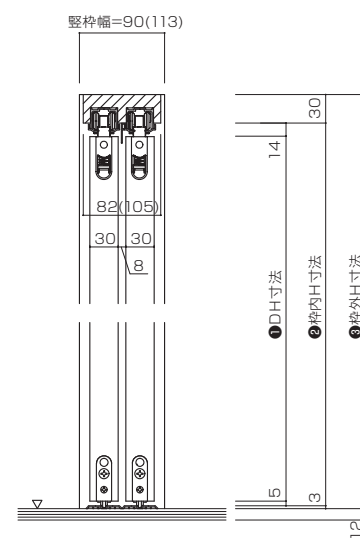
敷居加工図



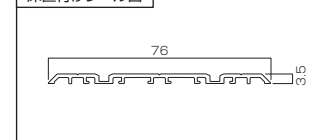
床直付けレールの場合

(単位:mm)

※()内は113mm幅の寸法です。



床直付けレール図



製品寸法	H20 DH 1,983	H22 DH 2,183	H24 DH 2,348
①DH寸法	1,983	2,183	2,348
②枠内H寸法	2,002	2,202	2,367
③枠外H寸法	2,047	2,247	2,412

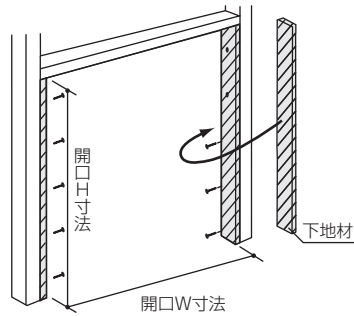
製品寸法	H20 DH 1,983	H22 DH 2,183	H24 DH 2,348
①DH寸法	1,983	2,183	2,348
②枠内H寸法	2,002	2,202	2,367
③枠外H寸法	2,035	2,235	2,400

施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

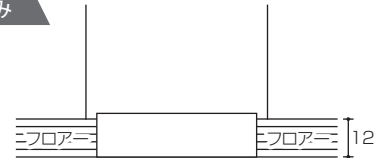
1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ



注意
敷居はバリアフリー（埋め込み施工）となります。

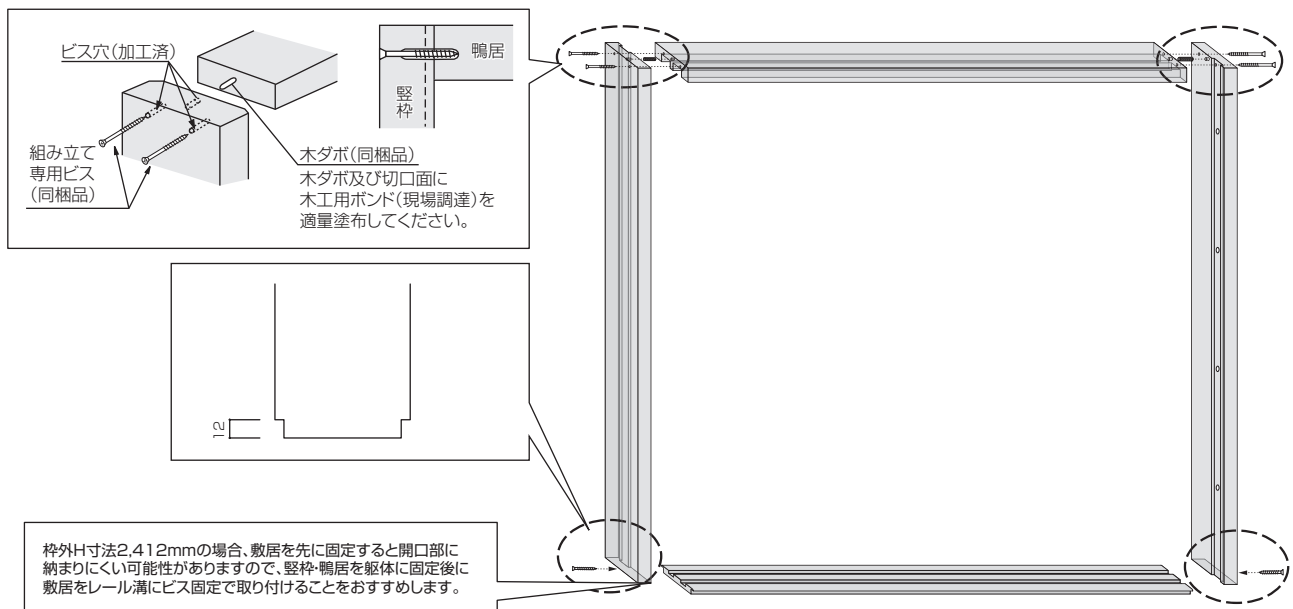
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

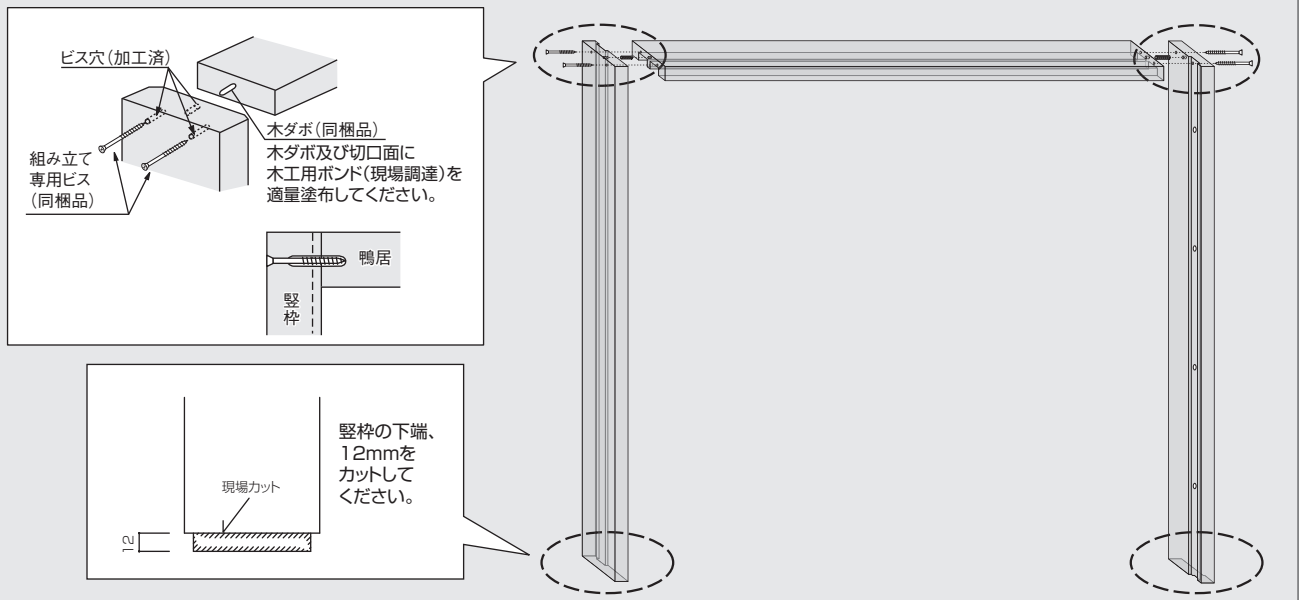
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



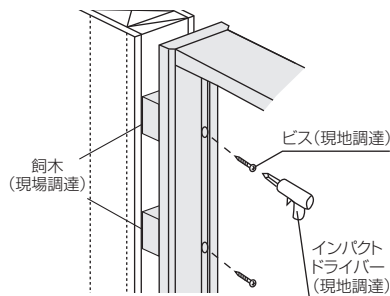
床直付けレールの場合



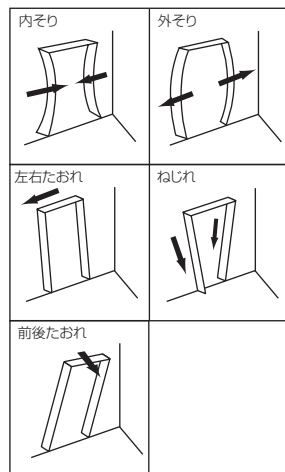
4 枠材の固定と建て付け調整

■4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

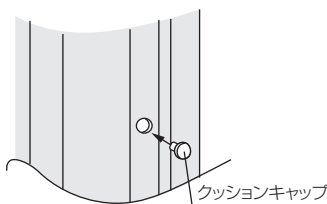
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は現地調達したビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※下記のようなことがないようにご注意ください。

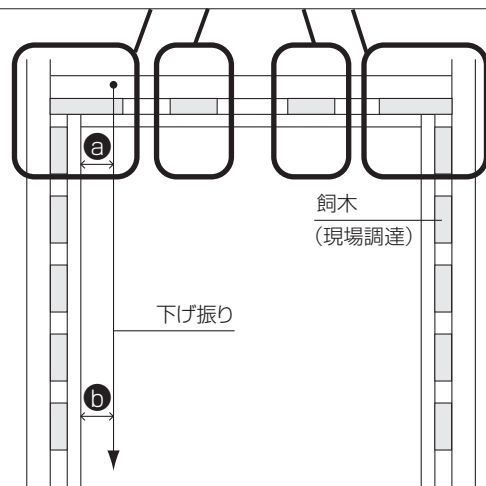


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



！ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※トリガーの位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

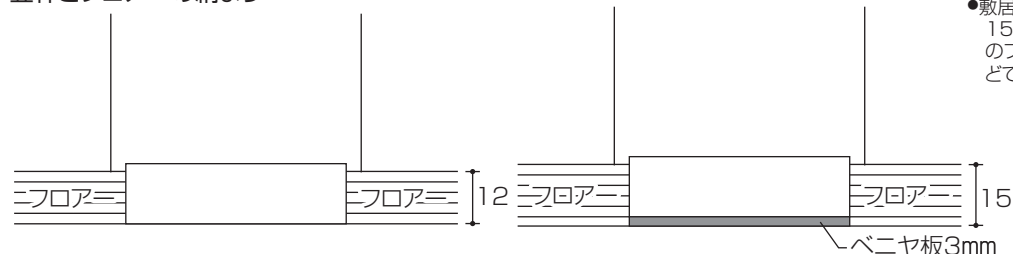


水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

5 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

縦枠とフロアーの納まり



●敷居の厚みは12mmを基準にしています。
15mmフロアーなど12mm以上の厚みのフロアーを使用の場合は、ベニヤ板などで 高さの調整をおこなってください。

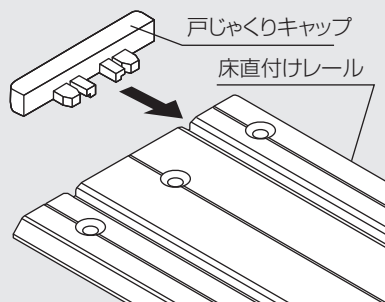
！ 注意

敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

床直付けレールの場合

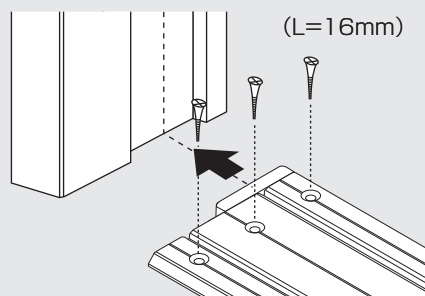
①戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。



②床直付けレール取り付け位置の確認

戸じゃくりキャップ部分が、縦枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていないと、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

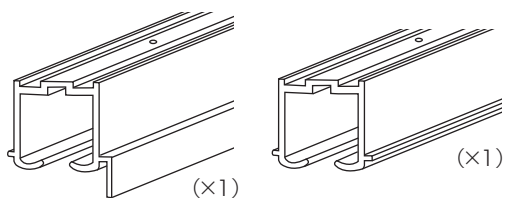


※レールのキズ防止のため、施主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

6 鴨居レールの取り付け △施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

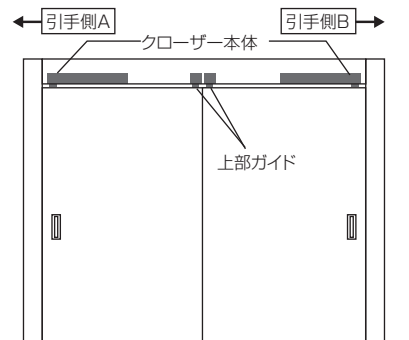
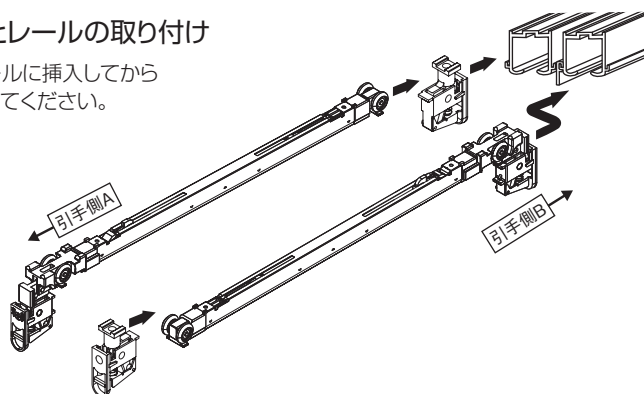
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



片側ソフトクローズ 仕様

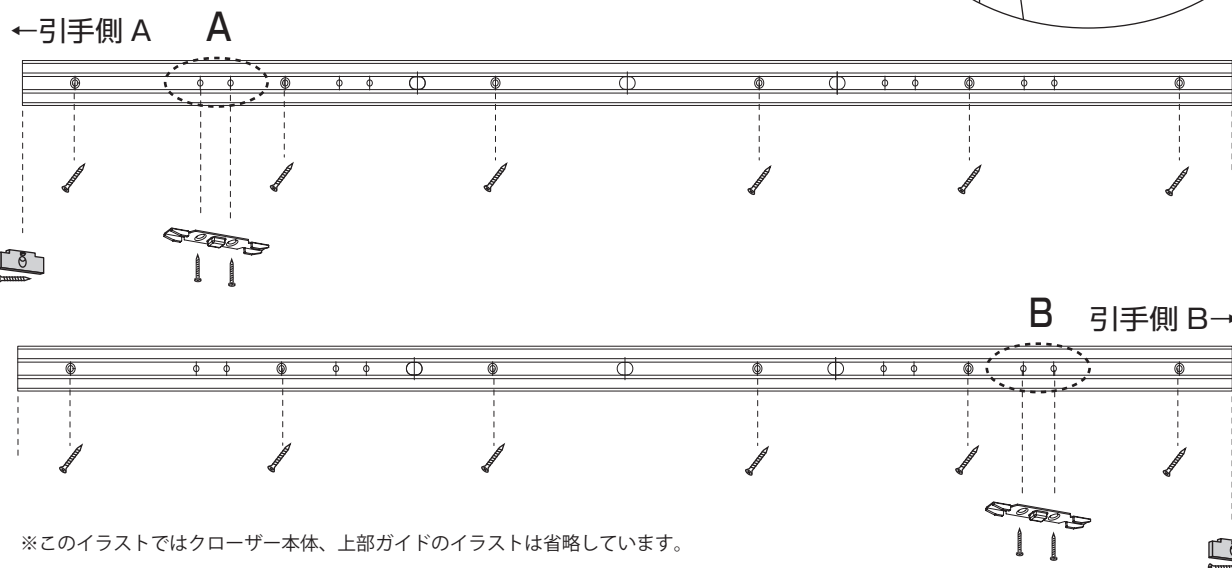
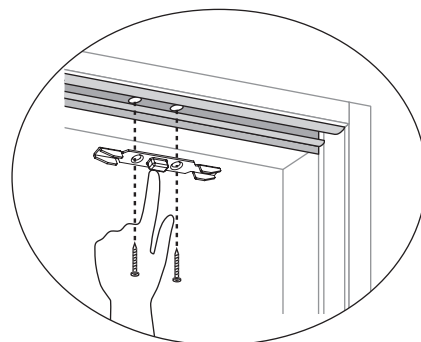
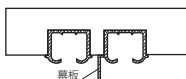
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

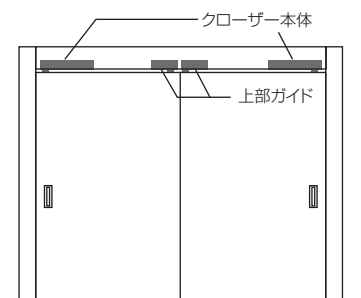
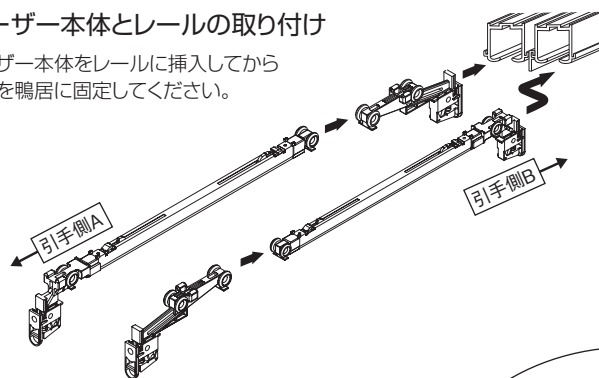
レールに付いている幕板を、鴨居芯
側に向けて取り付けてください。引
き違い戸では片方のレールには幕
板はつきません。



両側ソフトクローズ 仕様

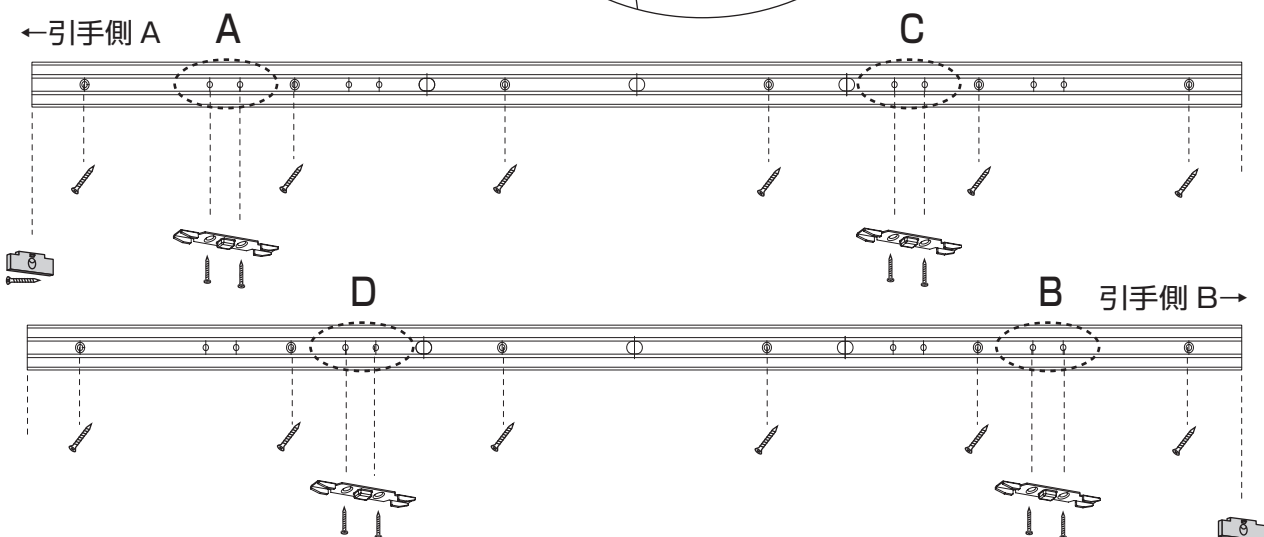
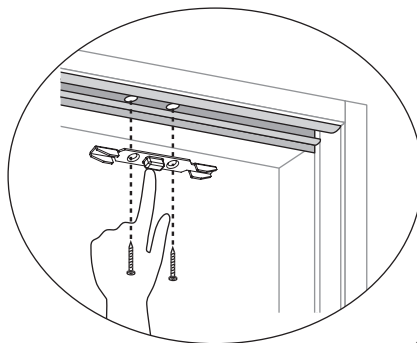
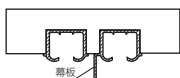
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて
取り付けてください。引き違い戸では片方の
レールには幕板はつきません。

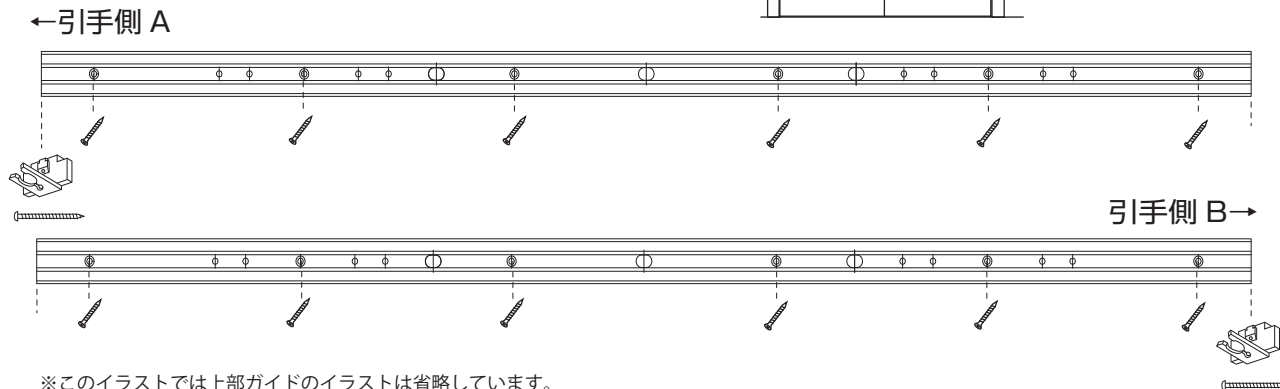
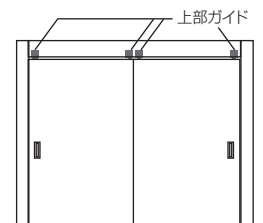
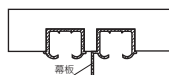


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

ソフトクローズなし

①鴨居レールの取り付け

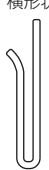
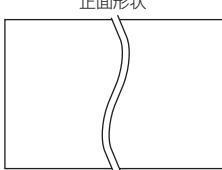
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてくだ
さい。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

オプション ※ピノアースのカラーには対応しておりません。

■幕板カバー

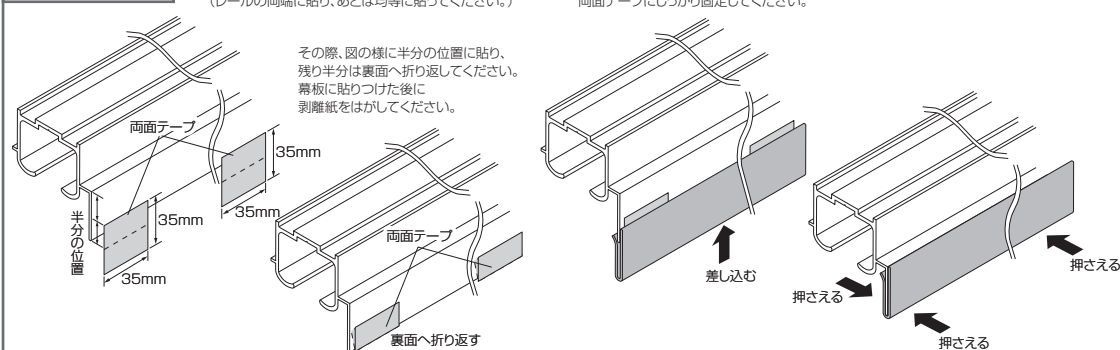
横形状	正面形状	品 番	引き戸用幕板カバー材
		品 名	ZYFM18-□ ZYFM36-□
		サイズ	1,800×20×3 3,600×20×3
		備 考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート
			1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

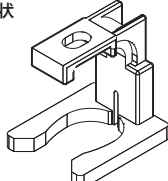
② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて両面テープにしっかり固定してください。

その際、図の様に半分の位置に貼り、残り半分は裏面へ折り返してください。幕板に貼りつけた後に剥離紙をはがしてください。



■戸尻側キャッチャー

引き違い戸の片側ソフトクローズ(標準仕様)、ソフトクローズなし(オプション)の戸尻側のレール端に取り付けます。

形状		品 番	ZYNTC21
		品 名	戸尻側キャッチャー
		必要個数	片側ソフトクローズ:2個 ソフトクローズなし:2個

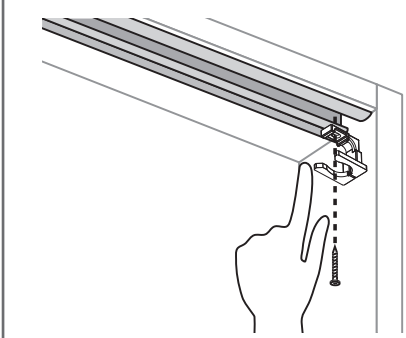
取り付け方法

① キャッチャーをレール端に当てて、ビスで取り付ける位置を確認してください。

② レールに下穴を開けて同梱のビスで取り付けてください。

お願い
ビス打ち込みの際は、割れ防止のため、下穴を開けてください。

ビスの取り付けの留意点
ビスは同梱のビスを使用して取り付けてください。ビスで金具の固定を行う際は過大なトルクを発生させる工具は極力使用しないでください。強いトルクを発生させるインパクトドライバーを用いると、締め過ぎによるビスの空転や部材に割れが生じ、適切な固定できず、商品に悪影響を及ぼす原因となります。



施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

